

【遊泳期間前】

1 結果の概要

市内の海水浴場（岩屋、脇田海水浴場）に関し、水質調査を行ったところ、ともに海水浴場として水浴に適した水質であった。

2 調査日

令和 7 年 5 月 14 日及び令和 7 年 5 月 20 日

3 調査結果

評価項目・参考項目結果

水浴場名	評価項目				参考項目		判定
	ふん便性大腸菌 群数 ¹⁾ (個/100mL)	COD ²⁾ (mg/L)	透明度	油膜	pH	0-157 ³⁾	
岩屋	不検出	1.1	全透	なし	8.1～8.2	不検出	水質 A A
脇田	不検出	1.2	全透	なし	8.1～8.2	不検出	水質 A A

(ふん便性大腸菌群数、COD については平均値)

- 1) ふん便性大腸菌：人、動物の排泄物由来の大腸菌。水質汚染の指標であり、多く検出された場合、人、動物の排泄物で汚染されている可能性がある。
- 2) COD：水中の有機物（汚染物質）が、酸化剤で化学的に酸化されるときに消費される酸素の量をいい、有機物による汚染の目安になる。
- 3) 0-157：腸管出血性大腸菌の一種で、感染力が強い。感染症や食中毒の原因となる。

参考資料

1 海水浴場の位置



2 水浴場水質判定基準

項目 区分		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA	不 検 出 (検出限界 2 個 / 100mL)	油膜が認められない	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	全透 (1m 以上)
	水質 A	100 個/100mL 以下	油膜が認められない	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	全透 (1m 以上)
可	水質 B	400 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	5mg/L 以下	1m 未満～ 50cm 以上
	水質 C	1,000 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	8mg/L 以下	1m 未満～ 50cm 以上
不適		1,000 個/100mL を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L 超	50cm 未満 ※

(注) 判定は、同一水浴場に関して得た測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出限界未満のことをいう。

透明度(※の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。